

# 平成26年度 阿賀野市研活動報告

会 長 相馬 重輔  
副会長 佐藤 雅  
評議員 相馬 重輔

## 1 研究活動の方針

阿賀野市小・中学校の研修組織として活動し、事務局は小学校に置く。次の事業を推進して、小・中学校教育の振興・充実並びに発展を図る。

- (1) 市学校教育の重点を受け、「学力向上検討委員会」「生徒指導委員会」を設置して、先導的な試行と提案を行う。
- (2) 会員の指導力向上に向け、各教科・領域15部会の研修を推進する。

## 2 研究活動の実際

### (1) 学力向上検討委員会・生徒指導委員会

- ・ 各中学校区単位の学力向上検討委員会が中核となって、小・中学校の学力実態を分析し、視点を共有した学力向上の取組を推進した。
- ・ 生徒指導委員会では、心の教育や生徒指導の充実及び特別支援教育の指導の在り方等について研修を深た。

### (2) 教科・領域における指導力の向上

- ・ 各教科・領域における会員の指導力の向上を目指す活動及び（授業）研修を通して授業力の向上に努めた。
- ・ 「夏期教育講演会」（8月1日）において、新潟青陵大学大学院 碓井真史教授から「子どもに寄り添う支援の大切さ」と題してご講演をいただいた。  
長崎県佐世保での事件も取り上げ、また、小・中学校における暴力行為等の問題行動についても取り上げ、子どもの心に寄り添う支援の仕方や在り方について学ぶことができた。特に今回は中学校の教職員にとって良い講演会となった。

### (3) 4中学校区単位の連携

- ・ 自校教職員だけで校内研修を行うのではなく、同中学校区小・中学校にも案内を配付し、学力向上に向けて連携を図った。
- ・ 「いじめ根絶子どもサミット」「小・中ネットワーク集会」等を開催し、4中学校区間で「中1ギャップ防止」に取り組んだ。

### (4) 教育研究発表会

- ・ 今年度は中学校2校が市指定校となった。2校とも「生徒の学び合い」を視点を授業改善や学力向上に取り組んだ研究を行った。

※ 安田中学校「互いに認め合い、粘り強く取り組む生徒の育成」  
～「学び合い」の視点を踏まえた授業改善～

（数学）11月6日

水原小学校「学び合いを通して、確かな学力を身に付ける生徒の育成」

（国語、数学）11月11日

## 3 市教研が関係した主な事業

- (1) 小・中学校科学研究発表会：10月1日（市ふれあい会館）
- (2) 親善陸上大会：9月18日（水原小）各校6年生が陸上競技・交流会
- (3) 小学校音楽祭：11月7日（市総合体育館）各校児童音楽発表会